

6. 観察の結果を課題と対比しながらまとめさせる。 ・金あみで上部から見させる。	6. 板書でまとめる。	3分	6. 観察の結果についてまとめ、問題と比べて話し合う。 ・外側（明るい部分）—こげた(高温)	○各部の温度は補説する。 ○外炎が最も温度が高いところは肉眼で見えにくいことを補説する。	
7. 温度のちがいはどうしておこるか類推させる。	7. 児童の理解度の観察をする	5分	7. 観察の結果から温度のちがいはどうしておこるか話し合う。 ・酸素が多くとり入れられる（外側）	○物が燃える際の酸素との関係に着目させて類推する。 ○できるだけ活発な話し合いができるようにする。	論理的推論
8. 次時の予告をして学習意欲をもたせる。	8. 児童の意欲や課題は握を観察する。 ・後始末の指示	2分	8. 「ろうそくの炎が、アルコールランプの炎と比べて明るいのはなぜか」 ・次時の課題をきく。	○アルコールランプの炎は、ろうそくの温度より高いのに、なぜろうそくの炎が明るいのか疑問を持たせる。	見方の転移(意欲)

(5) 考 察

本時の内容は、実験検証の方法が多岐にわたることが予想され、かつ実験の正確さも要求されたものであった。また安全管理の配慮もゆがせにできない内容でもある。

① 教師の役割分担

ア 課題の話し合い場面では、1教師が話し合いに入り、他教師が資料の提示や板書活動にあたったので、児童の思考活動に中断や間のびがなかった。

イ 6グループ2教師の指導なので、助言指導に余裕があり、個別指導が可能であった。また再実験グループへの援助が効果的にできた。

ウ 学習効果を高めるためには特に学習訓練（複数授業の）の必要を感じた。

② 児童の反応

ア 担任外教師の指導にも低抗なく学習しむしろ意欲的な面が目立った。

イ 自己評価の内容

(ア) 話し合いの時でも図を参考にしたり説明してもらえたので、とてもわかりやすく、楽しかった。

(イ) 実験の仕方が他のグループとちがっていたが、先生に手伝っていただいて成功した。やはりいろいろ考えてよかった。

(ウ) 自分の考えたことが、すぐOHPでうつし出されたのでおどろいた。

以上のように教師・児童ともに学習に対して満足の状態であったが、学習組織の研究や評価を生かした教授過程のくみかたなど、今後に残された問題も多い。